

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【話の内容を聞き取り、要点をまとめたり補足したりする問題】

レベル6・7

1 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

田中さんたちの学校では、全校徒歩遠足で、県民公園に行く予定です。公園の中では、二年生と五年生が三人ずつ六人で班を作り、それぞれが班行動をします。全校徒歩遠足の前に、先生がいくつかの注意点を各班长に伝えました。次の【先生の話】と、【県民公園の案内図】を読んで、あとの問いに答えましょう。

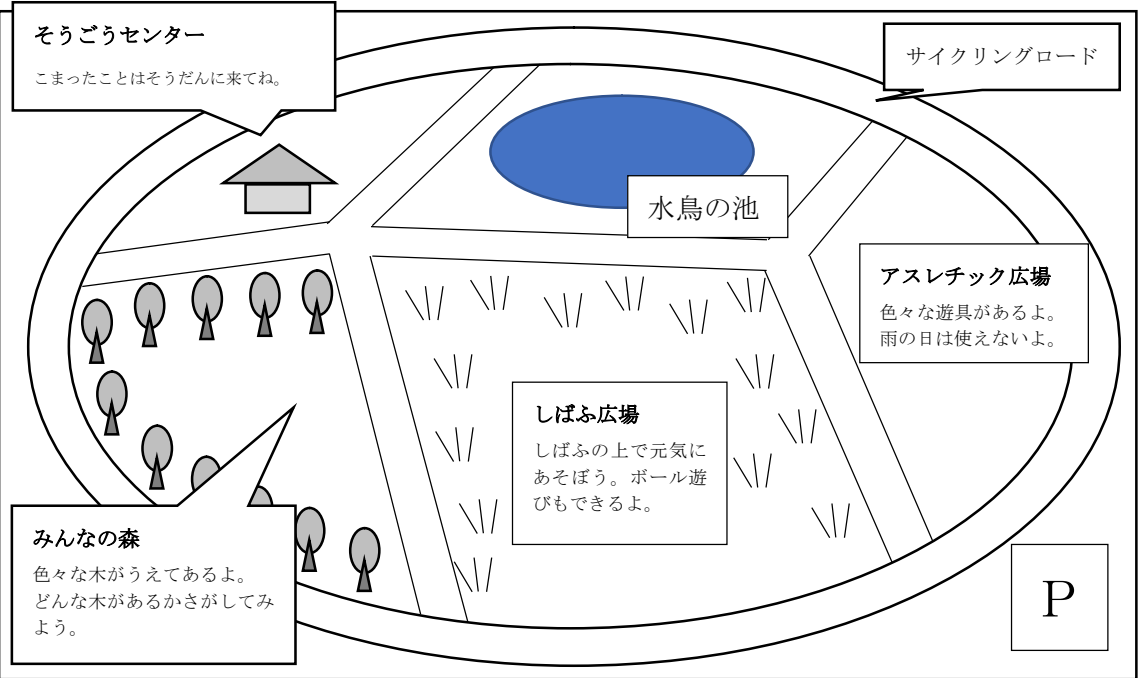
【先生の話】

班行動について、班の人たちに伝えてほしいことが三つあります。案内図を見ながら聞いてください。必要なことはメモを取って、班にもどったらみんなに伝えましょう。

【県民公園の案内図】

まず、遊ぶ場所についてです。公園の外側はサイクリングロードになっていますので、そこには出ないようにしましょう。池の近くもあぶないので、遊んではいけません。二つめは遊ぶ内容についてです。公園では他の人たちも遊んでいます。めいわくをかけないようにしてください。ボール遊びは、他のところに飛んでいくことがあるのでやめましょう。なわとびやだるまさんがころんだなどの遊びがおすすです。おにごっこをするときは、広いのでしばふ広場を使うようにしましょう。三つめは集合時間と場所についてです。午後二時にはそうごうセンター前に集まるようにしてください。集まる前には必ずトイレを済ませるようになっています。

先生からの連絡は以上です。何か質問はありますか。



1 遊ぶ場所

サイクリングロードの内側

2 遊ぶ内容

めいわくをかけないあそびをしよう。

理由は、

ア

3 集合場所と時間

午後2時、総合センター前に集合。

集合前にトイレをすませておく。

先生は、なぜめいわくをかけないようにと言っているのでしょうか。前の文から理由を探してみましよう。

(1) 【田中さんの聞き取りメモ】の ア には先生の話から聞き取った、みんなに連絡しなければならぬ内容が入ります。必要な内容を【先生の話】の中から探して書きましよう。

他の人たちも遊んでいるから

(2) 田中さんは、【先生の話】と【県民公園の案内図】の両方を合わせても分からない点があったので、質問することになりました。田中さんほどの質問をしますか。最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましよう。

- 1 しばふ広場はどこにありますか。
- 2 なぜ水鳥の池の近くで遊んではだめなのか。
- 3 サッカーをしてもいいのですか。
- 4 トイレはどこに行けばいいのですか。

4

次のことをヒントにして、考えましよう。

【先生の話】

- ・池の近くもあぶないので、遊んではいけません。
- ・ボール遊びは、他のところに飛んでいくことがあるのでやめましよう。

【案内図】

- ・しばふ広場の場所はどこか。
- ・トイレの場所はどこか。

【目的に応じて理由をあげながら自分の考えを書く問題】レベル7・8

(3) あなたが班長なら、遠足での遊びについて班で話し合う時、どのような遊びを
ていあんしますか。次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。

〈注意〉 1 二段落で、五行以上、七行以内で書くこと。

- 2 一段落目には、どこで何をして遊ぶのがよいと思うか、一つ書くこと。
- 3 二段落目には、なぜその遊びがいいと思うのか、理由を書くこと。

※解答は、必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。

(解答例)

い	が	い	遊		て	
に	ら、	っ	具	ア	遊	ア
楽		し	が	ス	ぶ	ス
し	二	よ	あ	レ	の	レ
め	年	に	る	チ	が	チ
る	生	チ	の	ッ	い	ッ
と	も	ヤ	で、	ク	い	ク
思	五	レ		広	と	広
っ	年	ン	教	場	思	場
た	生	ジ	え	な	い	で、
か	も、	し	て	ら、	ま	
ら		た	あ		す。	遊
で	お	り	げ	色		具
す	た	し	た	々		を
	が	な	り	な		し

7行

5行

次のことができているか、一つ一つ確認してみましょう。

- ① 一マスあけてから、書きはじめていますか。
- ② 一段落目で、「どこ」で「何をして」遊ぶのがよいと思うか書いていますか。
- ③ 二段落目も、一マスあけてから、書きはじめていますか。
- ④ 二段落目に、「〜から」など、理由をつけて書いていますか。

※〈注意〉には触れていないため、「〜だ」「〜である」の常体でも、「〜です」「〜ます」の敬体でも、統一されていればよいこととします。

復習シート 第五学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【情景描写の効果を捉えることができるかどうかをみる問題】

1 次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の[]の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。レベル5・6

【物語の一部】

良太は、小学校三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬや。」

と、小さな声でつぶやきました。

（物語が続く）

【二人の会話の様子】

南田 ———— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを [] で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動

【二人の会話の様子】において、南田さんは「さびしい」という気持ちを「灰色の雲」が広がって「だんだんと暗くなって」いく公園の様子によって表現しようとしています。

3

復習シート 第五学年 国語

組	番号	名前
模範解答		

【構成に関する問題】

2 クラスで「わたしの行ってみたい国」について、文章で発表することになりました。

発表する内容について、次の〈注意〉をよく読んで書きましょう。レベル7・8

〈注意〉 1 二段落で、五行以上、七行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが行ってみたい国の名前を書くこと。

3 二段落目には、行ってみたい国で、どのようなことをしてみたいかということにふれながら書くこと。

4 段落の最初は、一ますあけて書くこと。

（正答例）

わたしは、アメリカに行つてみたいです。

今、外国語で英語を学習しています。英語で外国の人と話をしてみたいです。そして、レストランで自分の食べたいものを英語で注文してみたいです。

わたしは、イタリアに行つてみたい。

イタリアは、ピザやパスタ、ジュエリートなど、おいしい食べ物がたくさんある。いろいろな都市の食べ物を食べくらべて一番おいしい食べ物をみんなに教えたい。

わたしは、エジプトに行つてみたいです。

エジプトには、ピラミッドがあります。ピラミッドの大きさや歴史を实实在に自分の目で確かめてみたいです。そして、ピラミッドの前で写真を撮りたいです。

わたしは、スウェーデンにいきたい。

わたしは、寒いところが暑いところよりも好きだ。氷でできたホテルがあると本で読んだことがあるので、オーロラを見ながら、氷のホテルにとまってみたいと思う。

〈注意〉 書いてあるとおりに書いているか、一つ一つ確かめてみましょう。

また、普段からいろいろなことがらに、きょうみをもって考えてみることも大事ですね。

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【記事の内容を読み取る問題】

1 次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事。）です。【コラム】は、全体の内容が1から5までのまとまりに分かれています。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日
 は「子ども読書の日」。世界では「世界の日」。世界では「世界の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

※1 「描写」…かき表すこと

※2 「童心」…子供の心

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。レベル4・5・6

筆者の読書体験「セロ弾きのゴーシュ」について書いてあるところを見つけてみましょう。

2

4

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ（「」「『』）は字数にふくみません。レベル7・8

読書といふ

言葉を引用しているということから、「」で書かれている文を見つけましょう。

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【資料を読み取る問題】 レベル6・7

問 山本さんと川上さんは【オムレツのページ】を読み、家でオムレツを作りました。次の【オムレツのページ】と【オムレツを作ったあとの感想】をよく読んで、後の（問い）に答えなさい。

【オムレツのページ】

ふんわりやわらか
オムレツ
(調理時間約10分)

材 料 (一人分)

卵	2個
バター	5グラム
塩	少々
こしょう	少々

作り方

白いところが残らない→むらがなくなる
こげないように→火が入り過ぎないように
など、それぞれのうまいかなかったところに気づく必要があります。さらに、その文がどこに書いてあるのかを読み取りましょう。

ように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。

4 表面が半熟状になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。

5 向こう側の卵を手前に折り返す。

6 卵のとじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

- 卵をよく溶きほぐすためには泡立て器を使うのがコツ。黄身と白身がよく混ざり、でき上がったときにむらがなくなります。
- フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

【オムレツを作ったあとの感想】

「作り方」のとおりに卵を溶きほぐしたのに、黄色いきれいなオムレツにならなかったな。次は白いところが残らないようにしたいな。



少しこげてしまったから、今度はこげないようにしたいな。どこに気をつけたらよいのだろう。

（問い）山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために【オムレツのページ】をももう一度読むことにしました。二人はそれぞれ、どのように読めばよいですか。最も適切なものを次の1から5の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 「材料」の分量を正確に読む。
- 2 文章全体の内容を表す大きな見出しを読む。
- 3 「作り方」の中から必要な内容を探しながら読む。
- 4 絵と文章を結びつけながら読む。
- 5 「ポイント」に書かれた内容に着目して読む。

山本さん・・・

5

川上さん・・・

3

復習シート 第五学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【指示語の働きを理解する問題】

- 1 次の一と二の——部の言葉は、何を指していますか。あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル4・5**

一 今日、わたしは、父に本を買ってきてもらいました。これは、前からほしかったものです。

- 1 今日
2 父
3 本
4 買ってきてもらったこと

「これ」「それ」「あれ」「どれ」などを「こそあど言葉」といいます。文章中で、前後に出てくる言葉や文を指すこともあります。 「これ」「それ」の前の文から、指す言葉を探し、当てはめて文に合っているか、考えてみましょう。

3

二 人には、それぞれの考え方がある。自分の意見をおし通していやがられるのはそのためだ。だからといって、人の意見に従^{したが}ってばかりではつまらない。おたがいの考えをたいせつにすべきだ。それさえできれば、わたしたちはおたがいを認め合^{みと}って話し合うことができるはずである。

- 1 人には、それぞれの考え方があること
2 自分の意見をおし通すこと
3 人の意見に従うこと
4 おたがいの考えを大切にすること

4

【修飾と被修飾の関係を正しく理解する問題】

（平成十九年度 全国学力・学習状況調査）

レベル7・8

- 2 次の文の——部の言葉は、どの言葉をくわしくしていますか。 () に書きましよう。

——部の言葉は、修飾語といい、文の意味をくわしくする言葉です。(1) 赤いのは何か、(2) 毎朝、何をするのか、(3) 友達の何なのかを考えてみましょう。

- (1) 赤い かさを さしている 女の子は わたしの 姉です。 (**かさを**) (**かさ**)
 (2) ぼくは 毎朝 近くの 公園で 弟と 走っています。 (**走っています**)
 (3) 友だちの 大きな 声が 教室から 聞こえた。 (**声が**) (**声**)